



20万円を**極** 「100周年の財産」 に化けさせる。

予算「1件20万円」という限られたリソースを、
単なる「その日楽しかった思い出」で
終わらせないための全9策。



1発屋の思い出
(その日楽しかっただけで終わる)



絶妙な初期費用
(人と人をつなぐ仕組みの種まき)

20万円
(種まき)



**次の100年に向けた
「組織づくり」と
「インフラ」の完成**

完

係長としての最終判断ポイント：終わった後に「何」を残すか？



第1章：子育て・子どもが喜ぶアイデア

子どもたちの笑顔は、
大人が一番巻き込まれやすい
最強のエンジン。

Strategic Goal Box

本質的な発展価値：

1. 若い世代の定住・愛着
2. 学校外の教育コミュニティ
の誕生

泥んこ・水鉄砲まつり

町じゅうが遊び場！



20万円の使い道：安全な泥、
仮設シャワー、大型給水タンク



職員のサポート：
場所の許可・泥の準備



口コミによる移住促進と、
補助金なしで自走する
「子育てサークル」の組織化



学校お泊まり星空キャンプ

夜の小学校で
大冒険！



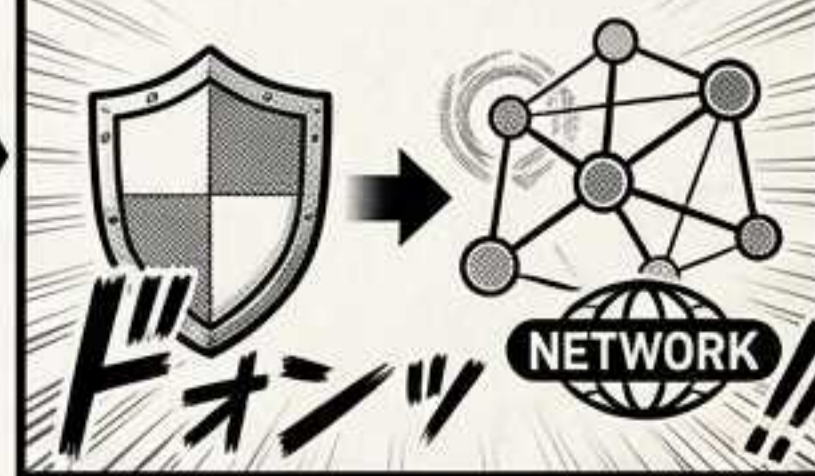
20万円の使い道：
防災用テント、ランタン、簡易トイレ



職員のサポート：
学校・教育委員会との調整



災害時に誰が動けるか顔が見える
「地域の防災ネットワーク」の完成

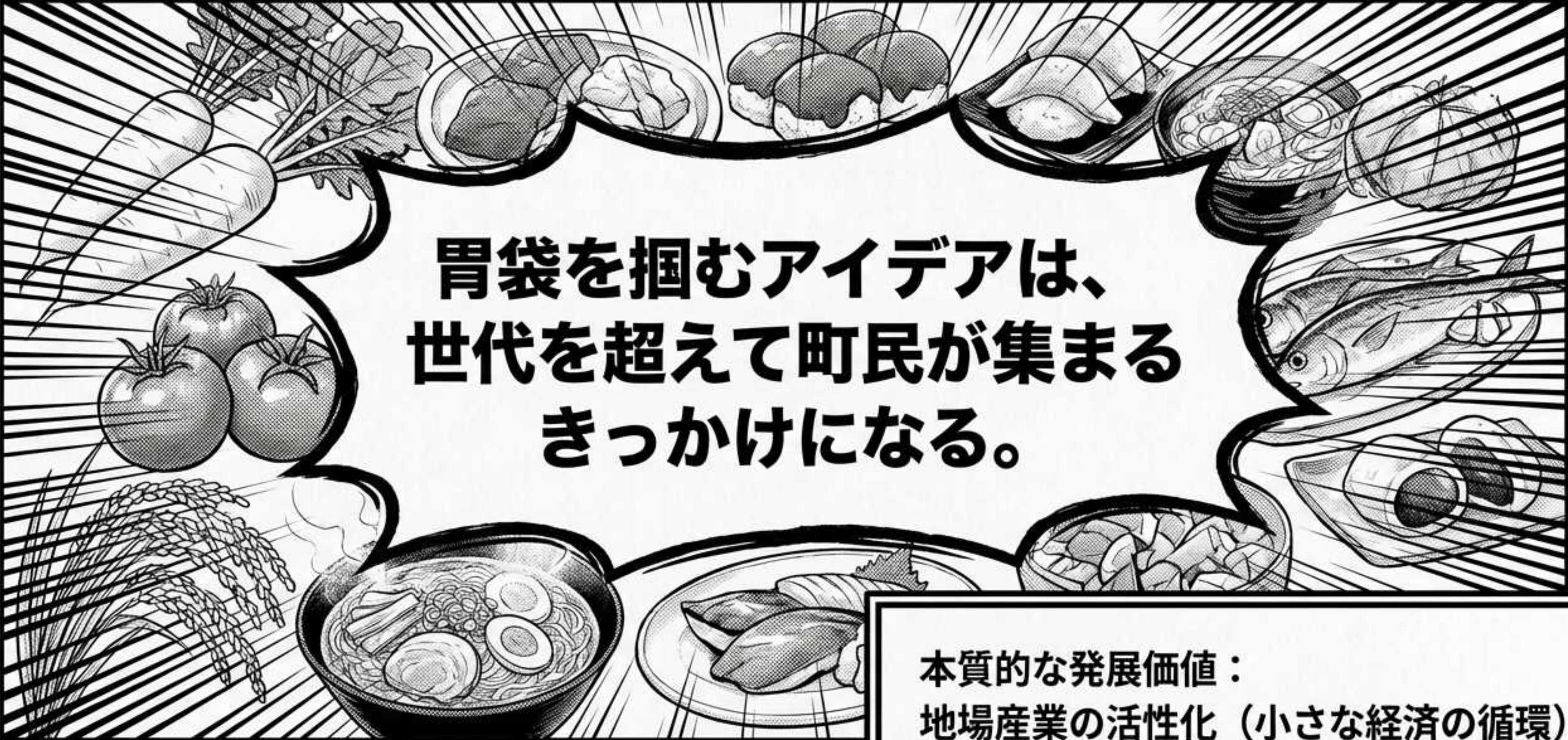


事例③：中学生が店長！ 『まちなか駄菓子カフェ』

世代間交流
の拠点化。



第2章：地域の自慢・食のアイデア



**胃袋を掴むアイデアは、
世代を超えて町民が集まる
きっかけになる。**

**本質的な発展価値：
地場産業の活性化（小さな経済の循環）**

「ウマイもん復刻総選挙」

20万円で試食用容器、
ロゴマーク・
パッケージの試作。



新商品開発の
マーケティング

ふるさと納税・
道の駅での正式商品化。



町の新しい
財源と
継続的な
ビジネス。

「ドライブスルー青空市場」

20万円で共通のぼり旗、
キャッシュレス端末、
安全備品。



「農協への出荷」から
「町民との直接つながる
ファンづくり」へシフト



補助金に頼らない
民間の定期マーケット化



高齢農家の
生きがい・
収入源。

事例⑤：消えかけの『郷土料理』をYouTubeで残す部活



単なる動画ではなく、観光PR・郷土学習に永久活用される
「歴史のデジタル保存（文化的資産）」。

第3章：日常の困りごとと解決アイデア

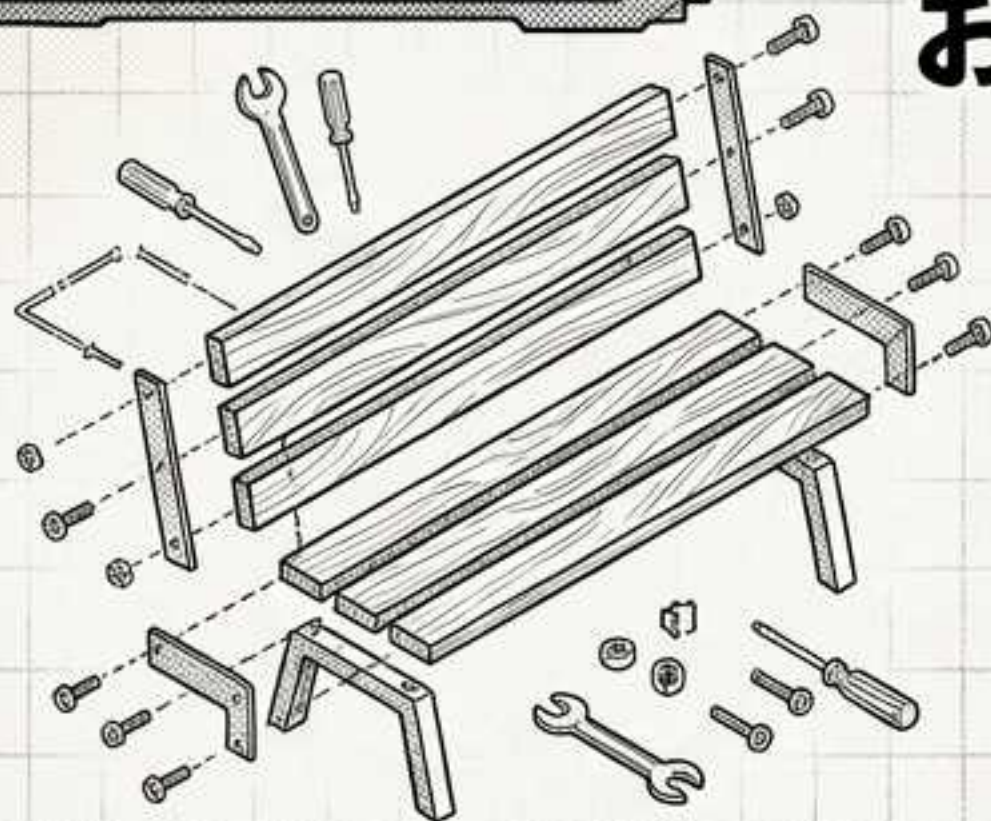


小さな不満こそ、
次の100年を
良くするヒント。

本質的な発展価値：

行政コストを減らす
『お互い様』の仕組み化

Schematic A



お助けベンチプロジェクト

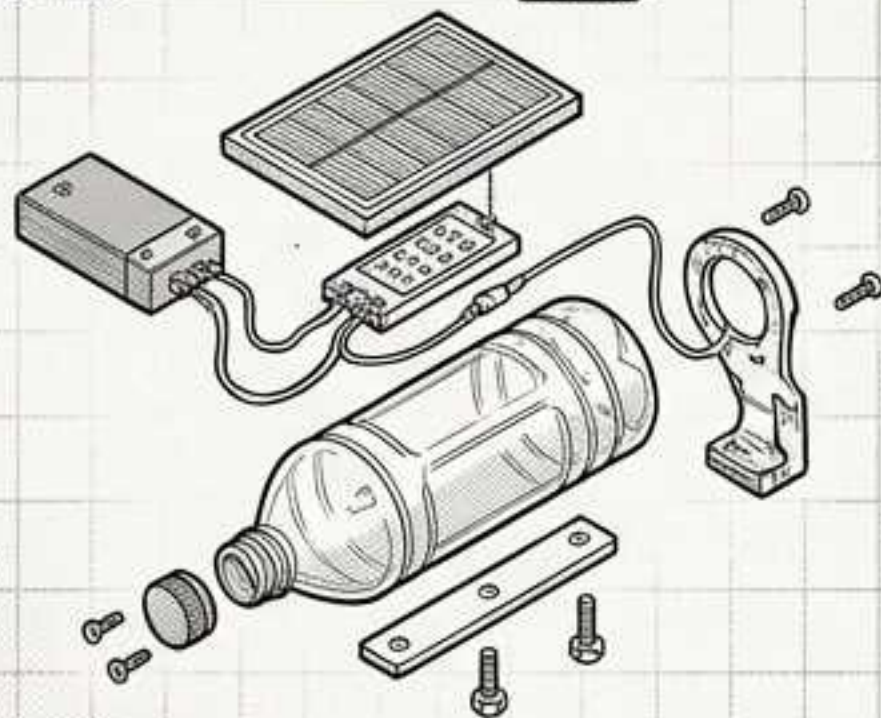
20万円: 耐久木材、
ペンキ、金具、工具
支援:
職員が設置許可を
サポート



高齢者の外出機会増 →
健康寿命の延伸 (将来的
な医療・介護費の抑制)。

承認

Schematic B



ピカピカ街灯アート

20万円:
高性能ソーラーLED、
防水資材
支援:
職員が防犯効果を検証



税金で作る電柱街灯の代替。
暗がり無くす「防犯コスト
の削減モデル」と住民の
パトロール意識向上。

推奨

事例⑧：孫世代が教える『お悩み解決相談所』



役所からのデジタル通知(防災アプリ・LINE申請)が届くようになり、
行政全体のペーパーレス化と業務効率化の土台が完成する。